

2016年7月21日

千葉工場でポリエーテルサルホン（PES）の第二プラントを建設

住友化学は、ポリエーテルサルホン（以下「PES」）の製造設備を千葉工場（千葉県市原市）に新設することといたしました。新設備の生産能力は3,000トン/年で、2018年の量産開始を予定しています。愛媛工場（愛媛県新居浜市）の既存設備と合わせると、増強後の生産能力は現行比で倍増となります。

PESは、スーパーエンジニアリングプラスチックスと呼ばれる樹脂のひとつで、耐熱性、寸法安定性、難燃性、耐熱水性に優れた特性を有する熱可塑性樹脂です。住友化学の「スマカエクセル[®]PES」は、航空機用炭素繊維複合材（CFRP）に韌性を付与する添加剤として長年にわたる供給実績があるほか、人工透析膜や自動車などにも採用されています。今後、航空機用 CFRP や人工透析膜向けの堅調な需要が見込まれることに加えて、自動車向けての拡大が見込まれています。こうした需要の伸びに応えるべく、また分散立地による安定供給体制の強化を図るため、千葉工場に新設備を設置することといたしました。

住友化学は、高い成長が見込まれる環境・エネルギー分野を重点の一つと位置付け、事業の拡大を進めています。これからも顧客密着型のマインドセットに基づいた製品・サービスの提案を通じて、PESをはじめとするスーパーエンジニアリングプラスチックス事業の強化をしてまいります。

以上